

[様式 9 - 1]

## 福祉サービス等第三者評価結果

## 総合評価

受診施設名	社会福祉法人愛善信光会 亀岡保育園	施設 種別	保 育 所
評価機関名	一般社団法人 京都府保育協会		

令和 3 年 6 月 22 日

総 評	<p>亀岡保育園は、JR亀岡駅に近い亀岡の南東部に位置し、亀岡中学校、亀岡高校に隣接した昭和24年設立の歴史ある保育園です。</p> <p>亀岡保育園は、宗教法人「大本」の理念によって設立され、その教えに基づく愛善保育理念「のびる神の子、かがやく神の子」を保育の根幹としています。子ども達は神様からお預かりしているという考えのもと、“駄目な子”は一人もいないという思いをもって保育を行っています。</p> <p>また、「言葉は愛であり、力である」と、言葉を言霊（ことだま）と捉え、大切にしており、保育者が子どもに発する言葉がけは、穏やかで丁寧なものになっています。</p> <p>保育は、散歩を多く取り入れ、近隣の亀岡城跡にある大本教の本部や公園などに散策に出かけ、四季折々の自然に触れるようにしています。また、園の農園にも頻繁に訪れ、苗植えから収穫までを体験出来るようにしています。収穫した野菜は、クッキング保育等で使用し、子どもたちが調理体験を通して、食に興味を持てるよう工夫しています。</p> <p>今回の第三者評価受診を機に、子どもが主体となる保育は何であるかを改めて見直す機会としており、行事ありきではなく、子どもの自発性、主体性から発展していく保育実践になるよう取り組んでいます。</p>
特に良かった点(※)	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者が要望等を述べやすいようクラス懇談会や個別懇談会、アンケートなどを実施し、それらで出た意見や苦情等の内容について、職員間で共有し、どのような対応を行ったかなどを含め記録を取り、次に活かすようにしています。</li> <li>毎月、産業医を交えて安全衛生委員会を開催し、各クラスから出るヒヤリハットレポートをもとに原因分析と改善策を考え、再発防止に取り組んでいます。その内容は、回覧で全員が共有出来るよう取り組んでいます。</li> <li>季節の野菜を園の農園で、苗植えから収穫まで体験出来るよう取り組んでいます。収穫した野菜を使つてのクッキングや、おにぎりパーティー、豚汁パーティーなどを通して、食に関する豊かな経験が出来るよう工夫しています。</li> </ul>
特に改善が望まれる点(※)	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育の質の向上を全職員で目指す為には、保育者一人一人の保育実践の振り返りが大切です。今後は、個別の職員の自己評価を実施し、子どもの思いを受け止めているか、援助の仕方は適切であったかなどをチェックし、次の保育への課題に繋がれると良いでしょう。</li> <li>保育についての標準的な実施方法が文書化されていません。今後は、保育を提供する職員誰もが必ず行わなくてはならない基本となる部分を共通化し、文書化されると良いでしょう。</li> <li>中・長期計画を策定していません。今後は、法人の方向性を職員と共有する為にも、事業計画と収支計画を伴った中・長期の計画を策定されると良いでしょう。</li> </ul>

※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

# 京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

## 【保育所版】 評価結果対比シート

(注)判断基準「a b c」について

【平成28年度以前の基準とは異なるため、当評価結果との対比はできませんのでご注意ください】

(a)は質の向上を目指す際の目安となる状態、(b)は多くの施設・事業所の状態、(c)はb以上の取り組みとなることを期待する状態、に改定されました。改訂後の評価基準に基づいた評価では(b)が一般的な取り組み水準となり、従前に比べて(b)の対象範囲が広がります。また、改正前に(a)であった評価項目が改正後の再受診で(a)を得られなくなる可能性もあります。

受診施設名	社会福祉法人愛善信光会 亀岡保育園
施設種別	保育所
評価機関名	一般社団法人 京都府保育協会
訪問調査日	2021年6月22日

I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
I-1 理念・基本方針	I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	1	① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	b	a
[自由記述欄]					
・理念、基本方針が明文化され、園のパンフレットやホームページ、全体的な計画に明記しています。年度初めには理事長より職員へ説明があり周知に努めています。					

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
I-2 経営状況の把握	I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	2	① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	b	b
		3	② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	b	b
[自由記述欄]					
・事業経営をとりまく環境と経営状況について把握に努めていますが、行政の施策内容が変化することもあり、分析は十分ではありません。法人として、今後の方向性を考えるうえでも、地域の特徴・変化等の情報を収集し、経営環境や課題の把握・分析を行い、出た課題を職員と共有出来るよう取り組まれるとより良いでしょう。					

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
I-3 事業計画の策定	I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	4	① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	c	c
		5	② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	c	c
	I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。	6	① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	b	b
		7	② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	b	b
[自由記述欄]					
・中・長期計画を策定していません。今後は、法人の方向性を職員と共有する為にも、事業計画と収支計画を伴った中・長期の計画の策定が望まれます。					
・単年度の行事計画に近い事業計画を策定しています。現在は、単年度の計画を職員の参画のもと、意見を集約・反映させて策定していますが、今後は、同じように中・長期計画も、職員の意見等を反映させるなど組織的な策定が望まれます。					

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組	I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	8	① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	b	b
		9	② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	b	b
[自由記述欄]					
・定期的に第三者評価を受診し、第三者評価委員会の設置によりマニュアルの整備や、職員への周知に努めています。今後は、第三者評価を受診していない年であっても、施設全体の自己評価を年1回以上実施し、改善に繋がれるとより良いでしょう。					

II 組織の運営管理

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
II-1 管理者の責任とリーダーシップ	II-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。	10	① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	b	b
		11	② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	b	b
	II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	12	① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	b	b
		13	② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	b	b

[自由記述欄]

- ・施設長の役割や責任を職務分掌等で明示されると良いでしょう。
- ・関係法令や制度資料を確認したうえで事業経営に努めています。今後は、遵守すべき法令等の観点を含めた経営に関する研修や勉強会に参加されるとより良いでしょう。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
II-2 福祉人材の確保・育成	II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。	14	① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	c	b
		15	② 総合的な人事管理が行われている。	b	b
	II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	16	① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	b	b

[自由記述欄]

- ・人材確保の為に採用活動を実施し、「求める人物像」を明示しています。今後は、人員体制に関する基本的な考え方や、人事基準等を明確にするとより良いでしょう。
- ・年1回、職員と管理者による個別面談を実施し、就業状況や要望等の把握に努めています。また、産業医との面談も全職員を対象に実施し、働きやすい環境整備に努めています。今後は、それらで把握した内容に対する改善策を人員体制に関する計画等に反映し、実行されるとより良いでしょう。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
II-2 福祉人材の確保・育成	II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	17	① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	c	b
		18	② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	c	a
		19	③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	b	a
	II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。	20	① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	b	b

[自由記述欄]

- ・職員とは研修に関する目標管理シートによって、進捗状況や達成度について確認するなど、育成を行っています。今後は、目標管理シートを利用し、年度初め、年度終わりなどにも適宜、受講状況や学びについて確認し、援助するとより良いでしょう。
- ・職員に対する研修計画が策定されており、それに基づいて研修に参加しています。また、外部の研修受講だけでなく、園内研修を年数回実施し、絵画、SDGs、子育て支援などについて学び合う機会を設け、職員間で情報が共有出来るよう取り組んでいます。
- ・実習マニュアルに沿って養成校の意向を考慮しながら、効果的な実習が行えるよう努めています。今後は、職種に配慮したプログラムを用意するとより良いでしょう。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅱ-3 運営の透明性の確保	Ⅱ-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。	21	① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	b	b
		22	② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a	a
【自由記述欄】					
<p>・園のホームページなどを通して、園の運営内容や決算情報を公開しています。今後は、苦情・相談の体制や改善内容について公表されるとより良いでしょう。</p> <p>・毎年、経営・財務に関する内部監査を公認会計士によって実施し、それらの指摘事項や助言に基づき、経営改善に努めています。</p>					

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅱ-4 地域との交流、地域貢献	Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	23	① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	b	b
		24	② ボランティア等の受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	b	a
	Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。	25	① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	b	a
	Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。	26	① 保育所が有する機能を地域に還元している。	c	b
		27	② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	c	b
【自由記述欄】					
<p>・地域のケアハウス訪問や、商店街と一緒に七夕コンサートやひな流しなどの行事の実施、園児が近隣の高校に出かけての交流、地元警察と連携して地域ふれあいフェスタの開催など、交流を広げるための取り組みを行っています。今後は、それら地域との関わり方についての基本的な考え方を文書化されるとより良いでしょう。また、中高生の職場体験や地域の社会福祉協議会を通じてのボランティア受け入れを実施しています。</p> <p>・関係機関等をリスト化し、連絡・連携を定期的に行っています。また、お茶室が園内にあり、毎月、地域の方が参加するお茶会を開催しています。今後は、地域の関係機関と連携し、災害時の役割等について確認がなされるとより良いでしょう。</p>					



Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	28	① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	b	a
		29	② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	b	b
	Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意(自己決定)が適切に行われている。	30	① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	b	b
		31	② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	b	b
		32	③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	b	b

[自由記述欄]

- ・子どもを尊重した保育について、全体的な計画によって明示すると共に、理事長によるこころざし教育や保育・人権研修などで職員が共通理解をもって保育実践が出来るよう取り組んでいます。また、理事長のひとこととして園の方針に沿った内容を毎月の園だよりに掲載しています。
- ・子どものプライバシー保護に関する職員周知を実施すると共に、誓約書ももらっています。保護者に対しては、ホームページ掲載の同意書を提出してもらっています。今後は、それらについての規程・マニュアルを作成されるとより良いでしょう。
- ・園見学を随時受け付けています。見学者には、写真や絵・図を取り入れた園のパフレットを配布すると共に、保育士長、分園長のいずれかが対応し、園の思いを伝えたり、質問等にも即答できるよう対応しています。今後は、園の概要などを記した資料を公共施設等で配布されるとより良いでしょう。入園児にはスライド等で園の概要を説明しています。今後は、保育の開始にあたり重要事項説明書の同意書を書面で残すとより良いでしょう。
- ・転園に際し、保育要録の送付を行っています。今後は、保育の継続性に配慮し、転園時の手順と引継ぎ文書を定めるとより良いでしょう。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	33	① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	b	b
		34	② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	b	a
		35	③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a	a

[自由記述欄]

- ・苦情解決の方法が定められ記録を残しています。今後は、その内容を重要事項説明書などにも記載し、保護者に周知されると良いでしょう。
- ・保護者が要望等を述べやすいようクラス懇談会や個別懇談会、アンケートなどを実施し、それらで出た意見や苦情等の内容について、職員間で共有し、どのような対応を行ったかなどを含め記録を取り、次に活かすようにしています。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。	36	① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a	a
		37	② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	b	a
		38	③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	b	a
		39	④ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	b	a

[自由記述欄]

- ・毎月、産業医を交えて安全衛生委員会を開催し、各クラスから出るヒヤリハットレポートをもとに原因分析と改善策を考え、再発防止に取り組んでいます。その内容は、回覧で全員が共有出来るよう取り組んでいます。
- ・感染症に関するマニュアルを整備しています。感染症が発生した場合は、個人の名前が特定出来ないよう、人数などを公表し、予防についての案内を園だよりに掲載しています。
- ・防災マニュアルを整備し、職員へ周知すると共に、消防署との合同訓練も年1回実施しています。備蓄倉庫を設け、災害発生時に全園児が数日間過ごせるよう食料や備品類を備え、毎月、備蓄食を食べる機会も設けています。また、災害時の避難先として近隣の高校と連携しており、常に校舎内に入れるようカギを渡してもらっています。不審者侵入時の対応マニュアルを整備し、定期的に訓練を実施しています。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅲ-2 福祉サービスの質 の確保	Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な 実施方法が確立している。	40	① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	a	c
		41	② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a	c
	Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉 サービス実施計画が策定されてい る。	42	① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	b	a
		43	② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	b	b
	Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に 行われている。	44	① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a	a
		45	② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	b	b

[自由記述欄]

- ・保育についての標準的な実施方法が文書化されていません。今後は、保育を提供する職員誰もが必ず行わなくてはならない基本となる部分を共通化し、文書化されると良いでしょう。
- ・年間指導計画、短期指導計画の内容は、それぞれの計画の期間に応じて評価・反省を実施すると共に、3～5歳児は年2回、領域ごとに発達の様子を確認するケース調べを行っています。
- ・子どもに関する記録の規程が整備されており、それに準じて管理しています。今後は、規程内に個人情報の不適正な利用や漏洩に対する対策方法を明記するとより良いでしょう。

A-1 保育内容

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-1 保育内容	A-1-(1) 全体的な計画の編成	46	① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画を編成している。	b	b
		47	① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	b	b
	A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開	48	② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	b	a
		49	③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	b	a
		50	④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	b	b

[自由記述欄]

- ・全体的な計画を、編成しています。今後は、保育に関わる職員の多くが参画して、改善に繋げられるよう取り組まれるとより良いでしょう。
- ・保育者の子どもに発する言葉がけは「ことだま」と捉え、穏やかで丁寧な応答を心掛けています。2020年度より一斉保育を行う時間を少なくし、子どもが自分でやろうとする気持ちを大切に、保育者が援助をするような保育実践に取り組んでいます。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-1 保育内容	A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開	51	⑤ 乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	a
		52	⑥ 3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b	a
		53	⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b	a
		54	⑧ 障害のある子どもが安心して生活でき喜んで遊べる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	a
		55	⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b	b
		56	⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	a	a

[自由記述欄]

- ・0~1歳児のほとんどは、隣接する木の温もりを感じる、ゆったりとした空間のある分園で過ごしています。
- ・2~5歳児は、散歩を多く取り入れ、亀岡城跡にある大本さんや、園で借りている畑などを訪れ、周辺の自然環境を活かして、四季折々の草花や作物、小動物と触れ合ったりするなど、自然物を取り入れた保育に繋がっています。また、園庭には巨大な築山があったり、泥だんごづくりに適した土コーナーを設けているなど、子どもたちが没頭して楽しく遊べるよう工夫しています。
- ・障がい児保育は、市の支援事業や関連団体と連携し、特別支援教育コーディネーターの助言や外部専門家とも協力し取り組んでいます。保護者理解についても保護者の立場に立った支援を心掛けています。
- ・延長保育は専属の保育士を配置し、延長保育の為に会議も定期的開催しています。今後は、指導計画等に長時間保育についての位置づけがなされるとより良いでしょう。
- ・7小学校区から園児は通っており、各小学校と連携を図ると共に、小学校生活がスムーズに送れるよう懇談会等で保護者へ発信するなど配慮しています。



評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-1 保育内容	A-1-(3) 健康管理	57	① 子どもの健康管理を適切に行っている。	b	b
		58	② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	b	b
		59	③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	b	b
	A-1-(4) 食事	60	① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a	a
		61	② 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。	a	a

[自由記述欄]

- ・年2回内科健診、歯科健診を実施し、その内容は保護者に個別文書で知らせています。また、その結果で職員間で共有が必要なものについては、会議で周知対応しています。今後は、SIDSに関する情報を保護者に提供したり、健診の結果を保健計画に反映させるとより良いでしょう。
- ・アレルギー疾患を持つ子どもに対しては、専門医の指示に基づいて除去食を提供したり、誤食防止の為にチェックを二重に実施するなどの取り組みを行っています。今後は、実施している内容を文書化し、マニュアルとして整備されるとより良いでしょう。
- ・季節の野菜を園の農園で、苗植えから収穫まで体験出来るよう取り組んでいます。収穫した野菜を使つてのクッキングや、おにぎりパーティー、豚汁パーティーなどを通して、食に関する豊かな経験が出来るよう工夫しています。

A-2 子育て支援

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-2 子育て支援	A-2-(1) 家庭との緊密な連携	62	① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	a	a
	A-2-(2) 保護者の支援	63	① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	b	b
		64	② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	b	b
	A-3-(1) 保育実践の振り返り(保育士等の自己評価)	65	① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り(自己評価)を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	c	c

[自由記述欄]

- ・子育て相談や懇談会など、保護者支援への取り組みと共に、園の保育についても理解してもらえよう、連絡帳、個人懇談、行事等での挨拶などで情報発信や情報交換に努めています。今後は、保護者との相談内容を基準に沿って記録し、継続した支援となるよう整備されるとより良いでしょう。
- ・職員間で虐待に対する知識を共有し、通告を行なう体制を整えています。今後は、その内容を虐待防止マニュアルとして整備されるとより良いでしょう。
- ・保育の質の向上を全職員で目指す為には、保育者一人一人の保育実践の振り返りが大切です。今後は、個別の職員の自己評価を実施し、子どもの思いを受け止めているか、援助の仕方は適切であったかなどをチェックし、次の保育への課題に繋がれると良いでしょう。